

健康保険 傷病手当金 請求書 (第 2 回目)

被 保 険 者 が 記 入 す る と こ ろ	①被保険者証 の記号・番号	記号：1 番号：12345	②被保険者の氏名	健保 太郎		
	③被保険者の住所 ※支給決定通知書の送付、及 び書類不備の際に使用します	〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目15番18号				
	④日中連絡の取れる電話番号	☒ 自宅 ☐ 勤務先 ☐ 携帯		052-***-****		
	⑤被保険者の勤務する又は勤務していた会社名	NDS株式会社				
	⑥傷病名	脳梗塞		⑦発病または負傷の年月日	令和7年 8月 4日	
	⑧発病の状態または 負傷の原因	*****にて発症				
	⑨傷病の療養をする ために休んだ期間	令和 7年 8月 4日 か 令和 7年 9月 3日 ま で (31) 日間				
	⑩上の⑨に書いた期間に対 する報酬はありますか？	基本給は	☐ 全部受けられる ☐ 一部受けられる ☒ 受けられない			
		諸手当は	☐ 全部受けられる ☐ 一部受けられる ☒ 受けられない			
	被 保 険 者 が 記 入 す る と こ ろ	⑪交通事故など、第三者の行為によって負傷したものですか？	☐ はい ☒ いいえ			
「はい」と答えた場合はその事実を当健保に届出ていますか？		☐ はい ☐ いいえ				
⑫老人保健法の医療を受けた とき 該当の場合は記入してください		市 町 村 番 号	受 給 者 番 号	発 行 期 間 名		
⑬介護保険法サービスを受けた とき 該当の場合は記入してください		市 町 村 番 号	受 給 者 番 号	発 行 期 間 名		
⑭この請求の傷病に対し「傷害年金」または「障害手当金」を受けていますか？		☐ はい ☒ いいえ				
受けているとき年金の種類		年 金 日 額	年金を受けることになった年月日	障害年金証書の記号番号		
☐ 障害年金 ☐ 障害手当金		() 円	年 月 日	()		
任意継続被 保険者または 資格喪失 者の方が記 入する。		⑮老齢または退職を事由とする公的年金を受給していますか？	☐ いいえ ☐ 申請中 ☐ はい			
		年金コードまたは記号番号もしくは番号	年 金 額			
		公的年金受給（申請中）者は必ず記入してください	円			
被 保 険 者 が 記 入 す る と こ ろ	⑯振込希望口座	銀行	支店	当座	口座番号	名義人氏名
	振込先を、代理人にする はい ・ いいえ （「はい」の場合は ⑰委任状の欄を記入）					
	口座名義の区分 1. 被保険者 2. 代理人					
	⑰委任状	私は、上記のとおり請求した傷病手当金及び同付 被保険者氏名： 印 住所は③の住所と同じ				
	⑰-1 代理人	住 所： 氏 名： 電話番号： ()				

期間の指定はないが給与の補填になるので長期の場合は1ヶ月単位で提出してください

任継および退職者は個人宛に給付しますので必ず記入してください。郵貯は不可。

在職者の方は、振込先を代理人にするに「はい」口座名義の区分に「2. 代理人」を選択し、⑰に記名・押印してください。

主事印

- [注意事項]
- 1. 印鑑は認印可。シャチハタ・日付印は不可です。
 - 2. 訂正した場合は、必ず訂正印を押してください。
 - 3. 提出された請求書については、返却・写しの送付等は一切致しません。（書類不備の場合を除く）

受 付 日

事業主が記入するところ	⑮ 被保険者証の 記号・番号	記号： 1 番号： 1 2 3 4 5	⑯被保険者の氏名	健保 太郎		
	⑳ 労務に服さなかつた期間	令和 7 年 8 月 4 日 から 令和 7 年 9 月 3 日 ま で (31) 日間				
	上の期間中について【 出勤：○、公休：／、休（有給）：△、休（無給）：× 】でそれぞれ表示してください。					
	令和 7 年 8 月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31				
	令和 7 年 9 月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31				
	令和 年 月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31				
	I) 上の期間中の分として報酬を全額または一部支給した場合（支給する場合）	全額／一部	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 ま で () 円	() 円		
		全額／一部	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 ま で () 円	() 円		
		全額／一部	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 ま で () 円	() 円		
	II) 報酬を支給しない場合その旨	欠勤の為全額支給しない				
上記のとおり相違ないことを証明します。 令和 7 年 10 月 13 日						
住 所：				主事印		
事業主氏 名：						
		電話番号： ()				

〔担当者の方へ〕

- 訂正をした場合は、必ず訂正印（事業主印）を押してください。
- I) 欄 給与締めごとの証明し、出勤した日に対する報酬は差し引いて、休業中の報酬を証明してください。

療養を担当した医師が意見を書くところ	III) 患者の氏名	健保 太郎	IV) 傷病名	脳 梗 塞		
	V) 発病又は負傷の原因	*****にて発症				
	VI) 発病又は負傷の年月日	令和 7 年 8 月 4 日	VII) 療養の給付を開始した年月日	令和 7 年 8 月 4 日		
	VIII) 労務不能と認めた期間	令和 7 年 8 月 4 日から 令和 7 年 9 月 3 日まで (31) 日間	IX) 左の期間中の診療実日数	(8) 日間		
	X) 傷病の主状態および経過状況・その他参考事項をご記入ください。					
	今回の治療状況		心身の症状がある場合には、この期間における症状			
	脳梗塞により入院加療。急性期は抗血小板薬投与、血圧管理を実施。現在も片麻痺が残存しており、継続して理学療法・作業療法を施行中。		精神疾患の場合には、こちらもご記入ください。			
	XI) 症状経過からみて従来の職種について労務不能と認めた医学的な所見を記入してください。					
	左半身麻痺が残存しており、理学療法・作業療法を実施中のため、就労不能と認める。					
上記のとおり相違ありません。 令和 7 年 10 月 3 日						
医療機関の名称・所在地：		浪速大学付属病院 大阪市浪速区*****				
医師の氏名：		鶴舞 五郎 電話番号： 06 (789) *****				

〔医師の方へ〕

- 訂正をした場合は、必ず訂正印を押してください。
- VII) 欄は、初診日ではなく、その傷病について健康保険による療養を始めた日を記入してください。